

審議会等の会議の記録

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回伊勢崎市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和7年5月28日（水）午後2時00分～午後3時40分
開 催 場 所	伊勢崎市役所東館5階第1会議室
出 席 者 氏 名	【委員】17名（欠席3名） 小林委員、相川委員、細野委員、高橋委員、渡辺委員、 福本委員、鈴木委員、栗原委員、赤石委員、西村委員、 藤井委員、高畑委員、永田委員、荻原委員、大谷委員、 大前委員、丸橋委員 【事務局】9名 三好教育長、二上教育部長、田部井教育部副部長 高橋生涯学習課長、澤本課長補佐兼施設管理係長、 山片課長補佐兼社会教育係長、川田課長補佐兼社会教育係長、 黛課長補佐兼社会教育係長、渡辺主査
傍 聴 人 数	0人（公開）
会 議 の 議 題	1 開 会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 委員・職員紹介（自己紹介） 5 議長・副議長選出 6 報告・協議（議長、副議長による進行） （1）伊勢崎市教育行政方針について （2）社会教育事業について （3）伊勢崎市社会教育委員会議年間計画について （4）伊勢崎市青少年指導センター運営協議会委員、伊勢崎市青 少年問題協議会委員、伊勢崎市図書館協議会委員、生涯学 習推進協議会委員の選出について （5）その他 7 意見交換「本市における社会教育の取組や課題について」 ・地域の子供を社会教育でどう育てるか 等 8 連 絡 少年の主張伊勢崎市大会について 委員報酬について 9 閉 会
会 議 資 料 の 内 容	○ 令和7年度第1回伊勢崎市社会教育委員会議（冊子） ○ 令和7年度伊勢崎市教育行政方針 ○ 社会教育委員の役割

会議における
議事の経過
及び発言の要旨

1. 開 会
2. 委嘱状交付 （教育長より赤石委員へ）
3. あいさつ 伊勢崎市教育委員会 教育長 三好 賢治
4. 委員・職員紹介（自己紹介）
5. 議長・副議長選出及び議長あいさつ
議 長 栗原 ウメ子
副議長 赤石 雅弘
6. 報告・協議
 - (1) 伊勢崎市教育行政方針について
 - (2) 社会教育事業について
【事務局】一括にて資料により説明
○質疑等
委 員：子どもクラブは各公民館で実施しているのか。
事務局：各公民館で実施している。公民館ごとに講座の計画をしている。参加者を市内全域に募集してる講座もあれば、公民館のある地域の子供たちに限定して募集している講座もある。ボランティア募集についても、学校と連絡を取り合い、連携して行っている。
委 員：ユネスコ子ども作品展の作品作りでもボランティアの方々に大変お世話になっている。ボランティアの取組をもっと広めてほしい。
委 員：公民館における学習講座の中で、「女性学級」とあるが、内容的に女性限定の内容ではないので、「女性」という言葉を取ったらどうか。
事務局：その方向で検討している。
 - (3) 伊勢崎市社会教育委員会議年間計画について
【事務局】資料により計画を提案
○質疑等特になく、計画が承認される。
 - (4) 伊勢崎市青少年指導センター運営協議会委員、伊勢崎市青少年問題協議会委員、伊勢崎市図書館協議会委員、生涯学習推進協議会委員の選出について
 - (5) その他 特になし。
- 7 意見交換「本市における社会教育の取組や課題について」
○講話「社会教育委員の役割」
・中部教育事務所生涯学習係 都丸社会教育主事より社会教育委員の役割について説明
・今年度も「子供たち」や「若者」に視点を当てて、地域の中で（社会教育で）子供を育てることをテーマとして話し合っていくことが議長から提案される。
→委員の承認により、話し合いの方向性が決まる。
○意見交換
＜4つの小グループに分かれて意見交換＞
「地域の子供たちにどんな学びが必要か」
「自分たちの立場からどんな支援ができるか」
・各委員の立場で、子供たちに学ばせたいことを黄色の付箋に書き、模造紙に付箋を整理してはりながら、グループごとに出た意見をまとめる。

	・各委員の立場で、学ばせたいことに対してできる支援をピンクの付箋に書き、模造紙に付箋を整理してはりながら、グループごとに出た意見をまとめる。 <グループ毎に意見交換された内容を発表> (子供たちに学ばせたいこと→自分の立場でできる支援) ・日本文化や異文化交流を大切にする子供を育てたい。 →それぞれの国の風習・文化・遊び方を理解できるような場を設ける。 ・市の方針や施設について学ばせたい。 →市内の施設において体験学習ができる場を設ける。 ・昔から地域に伝わる遊びを学ばせたい。 →いろいろな遊びがあることを教えてあげるような機会を設ける。 ・上毛かるた・太鼓・お囃子・ラジオ体操などの体験学習を通じて、異年齢交流を図る。 →地域での人と人とのつながりがもてるようにしていく。 ・外国籍の子供たちも含め、共に生活していく地域づくりが学べるようにする。 →人と人との付き合いが希薄なため、つながりがもてる行事を計画する。子供たちが気軽に参加できるような軽スポーツの行事を企画する。 8. 連絡 【事務局】 少年の主張伊勢崎市大会について 委員報酬について 9. 閉会
--	---